



歯科診療室だより

公立みつぎ総合病院

41号

令和7年6月8日

診療報酬改定の要望書提出

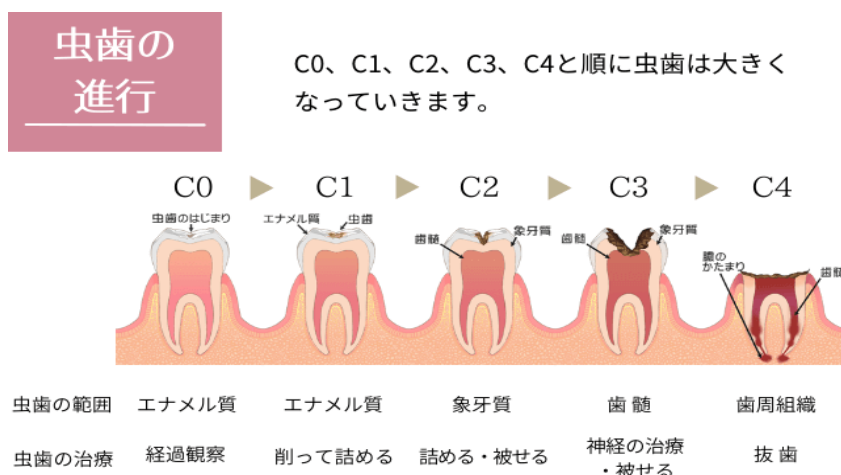
ニュースで右の様な情景を見たことはありませんか？ そんな情景を写真左の私も経験してきました。

4月11日厚生労働省に令和8年度診療報酬改定の要望書を手交した時の写真です。出席者は、厚生労働省保険局長の鹿沼氏の他4名、国診協は、会長、副会長、常務理事、理事の5名が出席しました。国保直診施設が設置されている地域の特徴や患者さんの置かれている状況の調査結果そして地域包括医療・ケアに取り組む国保直診ならではの要望書を取りまとめ、その要望書の内容を短い時間ですが医科と歯科が説明を行い、国の政策や立場について意見交換でき有意義な時間となりました。



歯髄炎 ～その1～

むし歯の進行の状態を現すのに下の図の様な模式図をよく目にしませんか？



C2と言われる象牙質までのむし歯であれば治療は、短時間・短期間で終了します。しかし、C3となるとむし歯が神経まで到達して冷たいもので凍みたり、熱いもので凍みたり、ズキズキした痛みを伴ってきます。痛みもその歯だけでなく同じ側の顎や顔が痛くなったり、上なのか下なのか判らなくなったりもします。写真のように歯が欠けて、歯の色が白っぽくなったりもします。このような事が起らないように歯科健診や定期的な歯科受診をされることをお勧めします。

文責 診療部長 占部秀徳